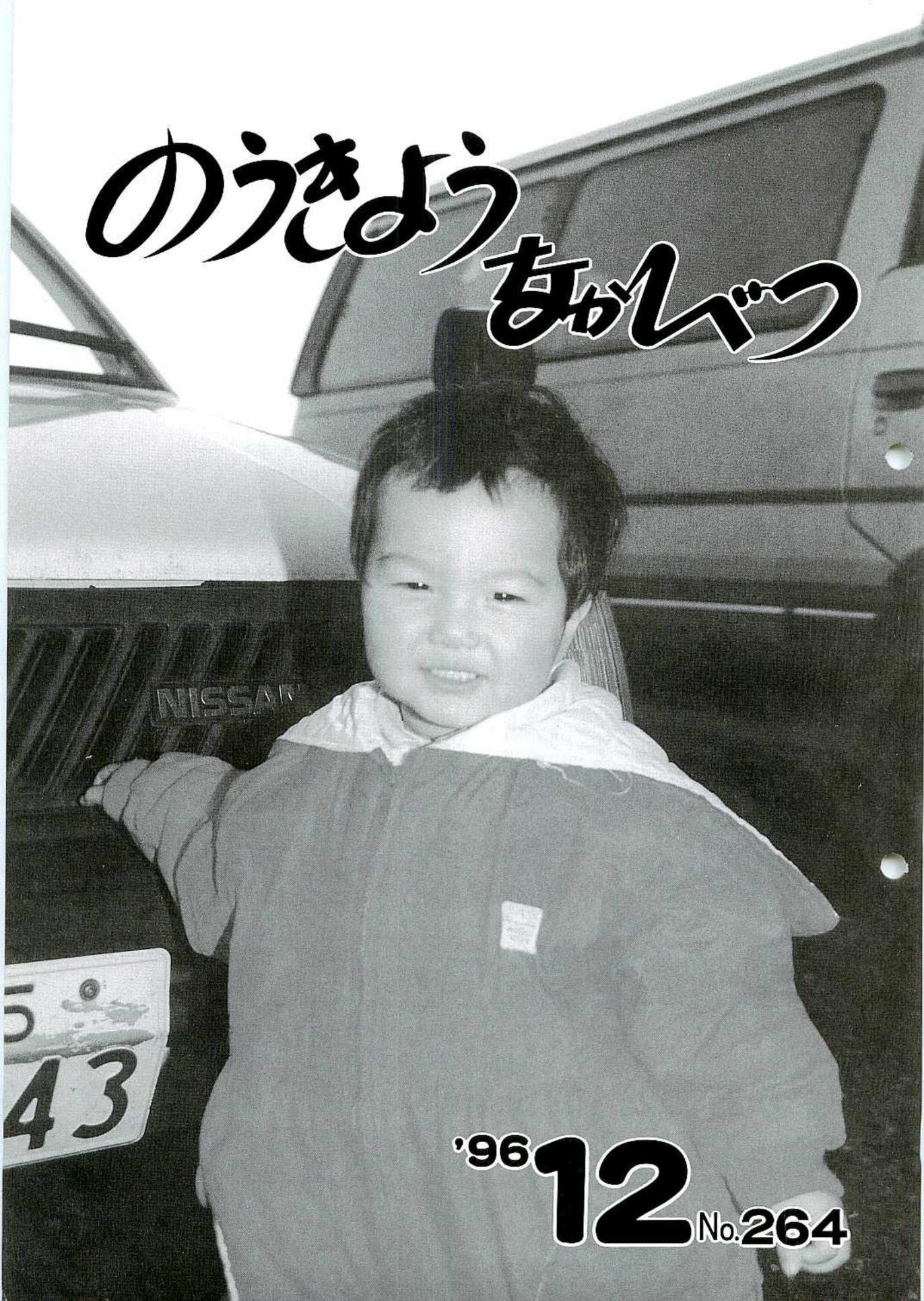


のうきよう ちんべつ



'96 **12** No.264

のうきょう ちびっ

もうすぐクリスマス。
テーブルの主役は
やっぱりケーキですね。



もくじ

- 3 ———— 〈わが家の人気者〉
ぼくにはお母さんが3人もいるのだ
北進 弾正原拓哉くん(1歳10ヵ月)
- 4~5 — 第9回臨時総会
- 6 ———— 〈組合長日誌〉
経営検討を家族全員で
- 7 ———— 根室管内農業賞
- 8 ———— 〈営農技術〉
育成牛の発育促進を図りましょう
- 9 ———— 〈中標津乳牛改良同志会〉
北米・欧州における乳牛改良
- 10~12 — 海外視察研修
家畜改良課 長崎 浩二
- 13 ———— 新任理事研修報告
理事 川村 清身
- 14 ———— 根室地区JA青年部大会
- 15 ———— JA根室地区
女性協設立40周年記念研修会
- 16 ———— 〈暮らしの知恵袋〉
予算生活に挑戦
- 17 ———— 農協の財務状況
- 18 ———— 一日皆貯金
- 20~21 — 今月のフォトアルバム
- 22 ———— 11月の組合日誌

わが家の人気男

ボクにはお母さんが3人もいるのダー



北進地区 弾正原 正・真由美さんご夫妻
長男 拓哉^{たくや}くん(1歳10カ月)

弾正原家をにぎわす三人兄弟の末っ子、拓哉くんは、もうすぐ二歳のやんちゃ盛り。
ちまたでは「弾正原家待望の男の子！」なんて言われているようですが、中学生のお姉ちゃん二人とお母さんの真由美さん実は、女の子が欲しかったとか…。

でも、元気に誕生した拓哉くんを囲んで家族の生活は一変。カワイイ弟ができて、「お姉さん」というより、見事なお母さんぶりを発



決してSMAPのファンではありません！とのこと

揮しているというお姉ちゃん達。たつくんが誕生してからは、家族みんなが茶の間に集まる時間が増えたそうで、お母さんもうれしい様子。また、以前たつくんがヤケドをしてしまった時、家族みんなが心配で、一晩中つきっきりで看病したそう。

そんな家族の思いで無事に完治したたつくんなのです。

生まれて三カ月ぐらいいで、もう牛舎へ行っていたという拓哉くん。今では、二番目のお姉ちゃんと二人で牛にエサをあげたり、お手伝いをするのが日課というおりこうさん。でも、いたずらも人一倍で、石灰をいじって全身真っ白にしたり、お母さんにお目玉をもらいう事もしばしば。でも、怒られてもめ

げる事を知らないたつくんにとっては、いたずらな日々が続きそう。お母さんいわく「楽道家というか、あまりクヨクヨする子じやないのよ」と笑います。

農協で見かける顔とは違う(ごめんない)表情でたつくんと接する優しいお父さんと、たつくんが仲間と思っている大好きなおじいちゃんのお母さん組対三人のお母さん(真由美さんとお姉ちゃん達)組で、毎日にぎやかに過ごしているようです。



元気いっぱいなたつくん

将来は、自分の好きな事ができるようになってほしいと話すお母さん。農家であることにとらわれずに、のびのびと、自然に育つて自分の道は、自分で開いてほしいというやさしい願いがこもっています。たつくんを中心に、弾正原家は今日もにぎわっている事でしょうね。

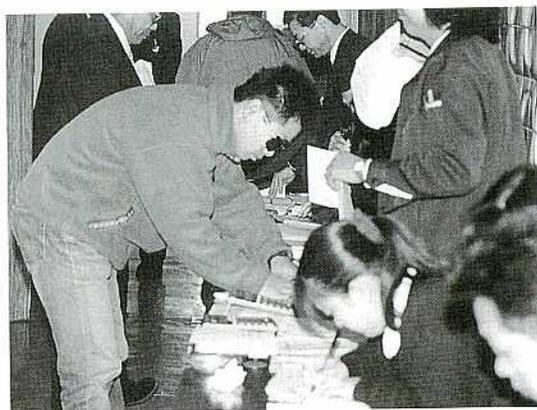


自己資本回復に努力

十一月三十日第九回臨時総会がJA中標津大会議室にて正組合員数三百六十人中、本人出席百五人、代理出席八十五人、合計百九十人で開催されました。

議長は推薦で開陽の高平幸夫氏と拓農の佐藤敏氏が就任され、なかしべつフーズ(株)に対する債権処理案の承認について上程されましたが、事前に地区別懇談会などで十分な質疑がかわされたこともあり、スムーズな進行となりました。

組合員の意見では、なかしべつフーズ(株)の清算に至る失敗の原因



各地区ごとに受付が行なわれました

について十分に反省をしていただきたいと要望され、組合長が組合員の皆さま方に伝わるようきちんと文書化して報告する事を約束しました。

また、なかしべつフーズの解散は馬鈴しょ耕作者が原料いもを安定出荷できなかった事が大きな要因であり、酪農家ですら良質乳を目指しベナルティを課してまで生産に励んでいるので、馬鈴しょ耕作者も必要量の出荷ができない場合にはベナルティを徴収するなど



議長に推薦された高平氏(左)と佐藤氏

の意識をもって責任を感じて欲しい。そして、この確約がないままにすぐる食品との業務提携を続けるならば、田なかしべつフーズ㈱の二の舞になるのではないかと意見がありました。

この意見に馬鈴しよ耕作組合員より冷害などの年もあり、安定して供給することを約束するのは難しいけれど、我々馬鈴しよ耕作者はすぐる食品という会社にももの加工を残してくれたことに感謝し、反省を含めて安定供給に努力したいと力強い言葉で発言されました。



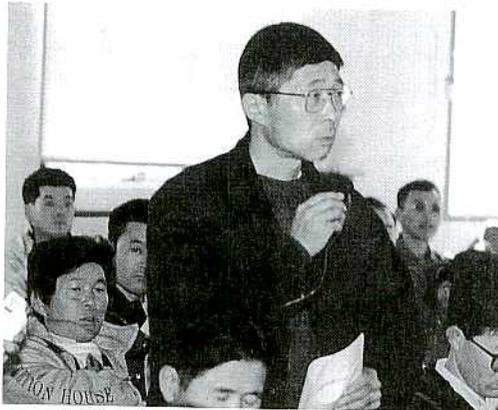
真剣に議案を協議

第9回 臨時総会 全議案可決する

役員一丸となって

また、酪農家・畑作生産者と分けて論議するのではなく、これら農家を守るために農協が存在するので、農協は何をすべきか、そして生産者は何をすべきか、今までの反省をふまえて組合員・役員・職員が努力し、この失敗を二度と繰り返すことのないように前向きに前進してほしいと希望され、満場一致の拍手のなかで上程議案が可決承認されました。

最後に三友組合長が閉会の挨拶のなかで、議案の承認を感謝し、一日も早い自己資本の回復に向けて役員一体となって頑張ります



意見を述べる峰松氏

が、時には皆様の叱た激励をいただき粉骨砕身で頑張りたいと、力強く約束し本臨時総会を閉会いたしました。



西崎氏



長淵氏

経営検討を家族全員で

ようやく根室らしい安定した天候になりました。この様な天気が春からあればと今更ながら思われます。過ぎざる日々は速いもので、いつの間にか師走を迎えてしまいました。

十一月三十日、第九回臨時総会を開催しましたところ、年の瀬を迎える時節、多くの組合員の皆様の出席をいただき、総会が成立しました。また多くの論議の末、提案議案を可決いただきありがとうございます。

総会については別ページにて詳細を載せてありますので割愛をさせていただきますが、一区切りと同時に新しい出発と認識して、今後の農協運営にあたってまいります。

今月は一年の経営の締めと、来年の営農計画樹立の月でもありません。今年の全体の数字はまだ出てまいりませんが、畑作では多雨、日照不足などの天候不順により、平年比八割程度の作況となりまし

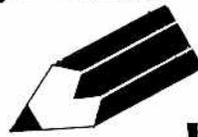
た。酪農では前年比一〇五割前後の伸び率ですが、補給金をはじめ、実質乳価の値下り、配合飼料の値上りなどがあり、逆に経営は悪化しています。畑作は天候に左右さ

●今月のたより……

組合長日誌

代表理事組合長

三友 盛行



れたという部分がはっきりしていますが、酪農では放牧草、収穫草の日照不足、刈り取り時期の遅れなどがあつたといえ、配合価格の値上りという外部の要因による影

響が大きくありました。

アメリカの穀物の作付の増大により、若干の現状水準の小康状態はあろうかと思われませんが、長期的に見ると高値に推移しそうです。

現在の牛乳生産の半分は、穀物を中心として外部に依存しています。それだけ外部状況の影響を受け易い構造となっているわけです。今年だけの現象なのか、構造的な問題なのか、見極めは早々には出来ませんが十分な内部検討が必要です。

畑作、酪農を問わず、農家経営の基本は地力に帰すると思われま



多くの要素の組合せによって営農が成り立っていますが、所詮、地力以上の事は出来ない様な気がします。言い換えれば地力あつての農業であり、地力の向上を基本にして色々な要素の組み合わせの成果が出されると思います。

営農計画の樹立について色々議論されましたが、最終的に辿りつくのは供給限度額、貸越し限度額の遵守など基本に戻るといふことでした。実績に裏打ちされた収入、支出の算出、月別計画、経営目標の設定と、改善計画の整理など本来当然すべきことの実行を改めて組合員に認識していただくことになりました。

先日の米価の値下げを通してみると、来年三月の乳価、秋の畑作物価格など、決して良い環境にありません。加えて二〇〇一年を思う時、国に対して要求することは組織をあげて努力しますが、個々として出来ることを確実に成してゆくことが何よりも大切です。新しい目標を持って、その達成のための来年の一年である様に、経営検討を家族全員で行なって下さい。

協同組合運動に多大な貢献

根室管内農業賞

JA中標津から

竹下 日吉氏

第20回 根室管内農



表彰を受ける竹下夫妻

第二十回根室管内農業賞表彰式が十一月十九日、午前十一時より中標津町トヨグランドホテルで行なわれ、JA中標津・竹下日吉氏ら八農協から九人が表彰されました。

この賞は、根室管内農業賞委員会が主催し、多年にわたり献身的努力をもって農業、農協の発展に尽力し、有益な実践活動を通じて経営効率を高め、組合運動の発展に尽くした功績を表彰するものです。式では受賞者九夫妻をはじめ、各農協組合長、根室支庁、町、農業委員会など各関係機関から約五十人が出席し、農業、農協の振興を図った先人に黙とうをささげた

後、枳殻勝久委員長が「多くの困難を克服されながら今日に至った尽力と、陰でささえた奥さんの内助の功に心から敬意と感謝申し上げます」と受賞者を讃え、賞状と記念品が贈られました。

〈竹下日吉氏 功績〉

昭和八年佐賀県鹿児島市で生まれる。昭和三十年、宮崎大学農学部を卒業と同時に北海道酪農の将来性を予見し、中標津町侯落に酪

農実習として入り、昭和三十一年中標津町第二侯落地区に入植。十三畝の配当地から経営をスタートする。翌年、酪農の第一歩としてオーストラリア産ジャージー種未経産牛四頭を導入したが、雪害により全滅。途方に暮れる思いをし、生計を立てるべく冬期間の冬山造材、川砂利採取など、過酷な作業に堪えながらホルスタイン経産牛一頭を購入。これが基礎となり本格的な酪農経営を始める。

農村電気が開通した昭和三十四年には、いち早くミルクカーを導入し大型経営を指向、昭和四十二年現在地に移転、トラクターの導入など大型経営の基盤を構築。以後大型酪農に向けた牛舎施設、パイプラインミルクカー、共同利用自走式ハーベスターの早期導入など、現在ある酪農経営の基礎を作り上げると共に、大型機械化酪農の先駆的役割を果たし、他地域に波及効果をもたらした。

また、昭和三十九年より国内はもとよりカナダ、中国など酪農実習生及び雇用労働者の受け入れを行ない、酪農を志向する青年の就農及び養成、国際交流にも貢献。その姿勢は他の模範となり昭和四十六年、中標津町国民健康保険連

営協議会委員、第二侯落地区酪農対策協議会会長、中標津町農協酪農対策協議会役員、昭和四十九年北海道酪農協合理事、根室地区酪農対策協議会委員、昭和五十二年には、第二侯落連合会会長、道営草地整備事業推進委員長、第二侯落地区交換分合推進委員長などを歴任し農業の基盤となる農地造成、草地整備、農業用地の流動化対策、農道基盤整備、酪農中央要請活動、農業政策活動などに尽力され、地域酪農経営基盤確立に献身的な努力を続けてきた。さらに、昭和五十九年から平成八年まで中標津町農協理事に就任。この間、生産委員長などの要職に就き、幅広い職見と行動力をもって酪農生産の振興、家畜消流事業、酪農ヘルパー事業などに尽力され協同組合運動に多大な貢献をされました。

受賞者

千葉 博志氏(標津町川北)
竹下 日吉氏(中標津町侯落)
岩淵 堅治氏(中標津町計根別)
菅野 達真氏(別海町大成)
佐藤 政治氏(別海町泉川)
木原 隆氏(別海町豊原)
佐藤鐘次郎氏(別海町別海)
加藤 亨也氏(別海町別海)
野村 忠雄氏(根室市酪陽)

育成牛の発育促進を図りましょう

北根室における育成牛の発育は、以前より改善されつつあるもの、決して良くはないということ、このコーナーに載せましたが、今回は発育が悪くなる要因を検討してみたいと思います。

一、飼料の栄養濃度

飼料の栄養濃度について、JA計根別の調査からTDN〔可消化養分総量(エネルギー)〕とCP(粗タンパク質)について見てみましょう。

図一は発育ステージ別栄養濃度

充足率を示しています。TDN・CPともにすべてのステージで、推奨濃度(スニフェン)に対する栄養濃度充足率は百割を割っています。またTDNに比べてCPの充足率が低くなっています。更にCP・TDNともに発育ステージ

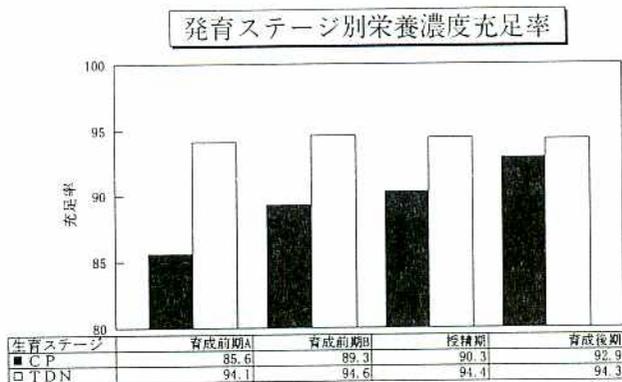


図1 発育ステージ別栄養濃度充足率(JA計根別)

が若くなるに従って充足率が低くなっていきます。この傾向はCPの充足率で低下の割合が大きくなっています。

表1 発育ステージ別給与飼料栄養濃度(JA計根別)

	給与飼料栄養濃度		推奨栄養濃度	
	CP	TDN	CP	TDN
育成前期A	13.7	66.8	16	71
育成前期B	13.4	64.3	15	68
授精期	13.1	63.7	14.5	67.5
育成後期	13.0	63.2	14	67

また離乳前と離乳後の栄養濃度の差が大きいことから、離乳ショックによる発育停滞が問題となります。この栄養濃度の差をできるだけ縮める事が、育成牛の増体を大きく左右させる事になりますので、

前述のような栄養レベルの改善に取り組んでほしいものです。

二、環境・施設

育成牛の飼養されている環境によっても、発育に影響を与えます。育成牛は若い時期ほど成牛合で

このことから離乳後の早い段階でのタンパク不足が体高などに影響を与えていると考えられ、品質の良い粗飼料に切りかえるか、購入飼料のCP(乾物割合)を二十程度(現在の購入飼料給与レベルは一七割台)に上げてみるなど、工夫をすると良いでしょう。

図3 発育ステージ別換気状況

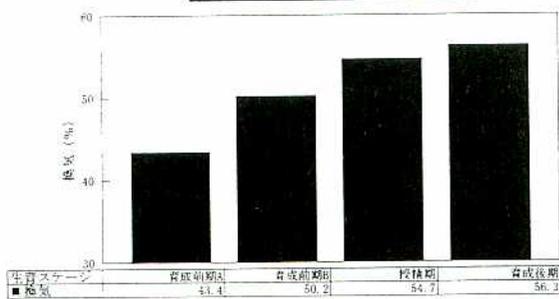


図3 発育ステージ別換気状況(JA計根別)

図2 発育ステージ別成牛舎使用割合

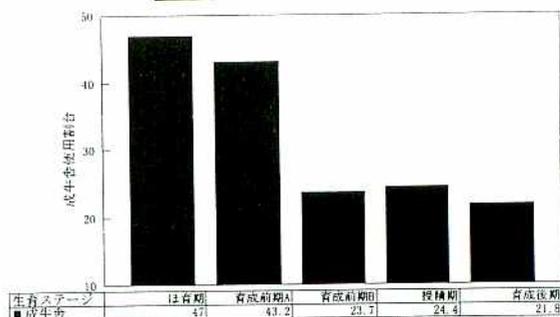
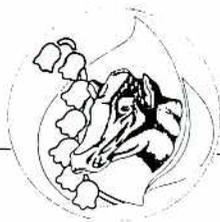


図2 発育ステージ別成牛舎使用割合(JA計根別)



飼われているケースが多くなっています。(図二) 現状での成牛舎の構造・成牛の熱・水分の出る量を考えて、子牛にとって決して

良い環境とは言えません。このよ
うな事などから図三に示すように
若い牛ほど、悪い換気条件で飼わ
れている現実があります。若い牛

北米、欧州における乳牛改良

乳牛改良同志会

平成八年度中標津乳牛改良同志会勉強会が、十一月二十一日農協中会議室で参加者約四十人を集め開催されました。

講師として北海道家畜改良事業団課長・橋場氏を招き、北米・欧州における乳牛改良、世界酪農の現況、北米、欧州における精液状況などについて講演・質疑応答し勉強致しました。

能力の点に関する改良は、世界各国とも蛋白が最重要項目となっております(ウエイトの置き方は国により



多少違いがあるのは、乳価構成の違いが原因。

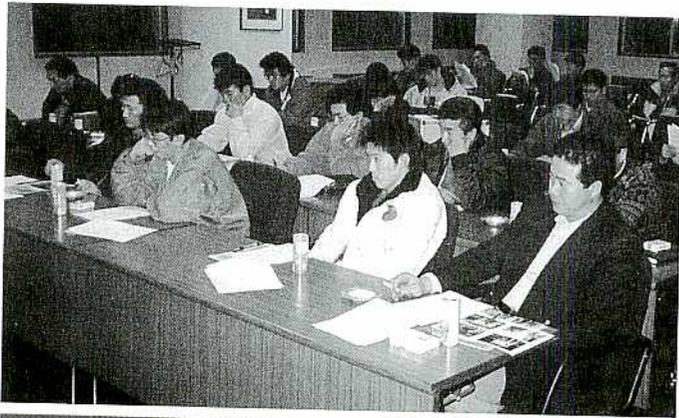
日本の場合は、乳価の面で脂肪を完全に無視し、蛋白だけに重みをおくのはまだ早いのではないのでしょうか。体型については各国とも乳器、肢路にウエイトを置いています。サイズ、体積は各国違いがあり、これは、飼養(酪農)環境の違いが大きな要因であると考えられます。

(例、オランダでは半数以上の酪農家がフリーストールというこ
とで、サイズはあまり重要な要素

ほど逆に良環境を必要としていま
すので、何らかの改善が必要です。
育成牛における食い負けは発育
のバラツキ発生要因となります。

と考えていません。従ってオランダの種雄牛もフリーストールにある物を重要視しています。

パンフレットなどをご覧になり
たい方は、農協家畜改良課までお気軽においで下さい。



てん菜生産実績

平成八年度てん菜出荷が十月二十六日から始まり十一月二十六日で終了致しました。

平均収量については鈴当り三七・八(前年四八・三)、平均糖分一七・六(前年一七・三)と、てん菜も馬鈴しょと同様に春先からの天候不順の影響を受けて、前年より大幅に減少となりました。



第二十一回北海道家畜人工授精師協会主催の海外視察研修に参加し、十一月九日から十八日までカナダのトロント近郊を視察してまいりました。参加者は授精師協会常務理事・西尾登氏を団長とする総勢十九人です。

海外に行つて違つた 視点で見れた地元の酪農

十日成田発十七時二十五分の便にて一路トロントに向かい、トロントに到着したのは現地時間十日の十五時十五分で、日付変更線を通過し同日を二度体験しましたが、見聞きするものが異国の事で心ときめき、時差ボケごときものは感じられませんでした。

これからどんな事が待っているのか、期待と不安と酒を抱きながらベッドへと眠りにつきました。

○カナダの酪農概況

カナダでは乳製品の消費が年一〜二割伸びており、クォーター制で生産枠が決まっていますが、枠外の余剰乳を一割当り五十四セントのところ二十六セントで買入られてくれます（カナダドルは約九十四円位）。

しかし、酪農家戸数は年四〜五割減少、乳牛頭数も僅かですが減少しています。

肉のマーケットも悪く、老廃牛は以前一千百ドルで売れましたが七百ドル以下に落ち、牡とく価格も安く四十ドルでも売れずに殺して

しまうこともあるそうです。主な要因として穀物価格の高騰と、今年は狂牛病の影響もあつたようです。

初日は三カ所の牧場とシーメツクス、GENCOR（授精所）を視察しました。午前中はフレイドン、エビイホルムの二件を視察。二件とも酪農家以外の視察者も来るくらいで、牛舎内外の環境はと



フレイドン牧場

ローヤルホルスタインの部

海外視察研修

家畜改良課 長崎 浩二

ても良かった。

初めてカナダの牛を見て感じた事は、皆牛が深く、乳房は高く幅があり、肢蹄がしっかりとっているのには驚かされました。

午後からはシーメックスにより、ジエンコウに向かいました。ここでは現地の授精師との対話の時間が設けられ、予定時間を大幅に超える対話となりました。

※人工授精は直検を行ないません。ただし、四、五回目になるときは行ないます。また、受胎しないときには肉用の受精卵を追い移植しています（肉、ホルの割合は半々）。

※三十年前は受胎しないのは種雄牛と言われていましたが、今は雌牛が大きな原因。

その後、種雄牛を見学（ガラスの向こうに牛を一頭一頭つれてくる）、日本でも使用されている、ルーテナント、リーダー、ルドルフなどを見せてもらいました。その後、デイパスキヤールホルスタインに視察に行きました。時間も遅く搾乳前という事で乳房も最高の状態で見る事ができました。ここ

には四頭程の種雄牛の娘が集められていました（リーダー、ミラン、ルーテナント、チャールズ）。

※ミランは足が長く体高もある、しかし少し浅く、うすい感じがありました。乳房も特に欠点はみられませんが、パワー不足の感がありました。

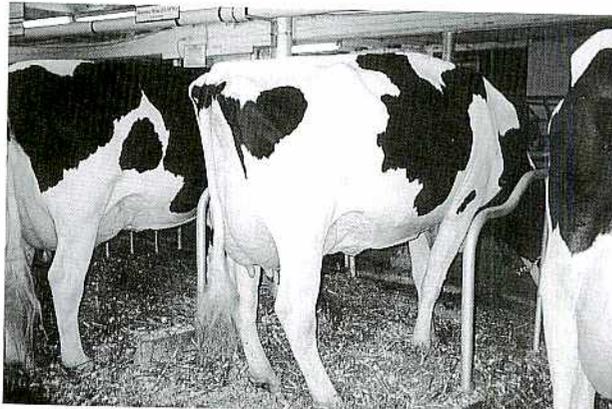
※リーダーは乳房がすばらしい。二日目朝八時よりゲルフ大学にて、D・F・マイケル・ローハイス氏によりモエットについて講義を受

けました。

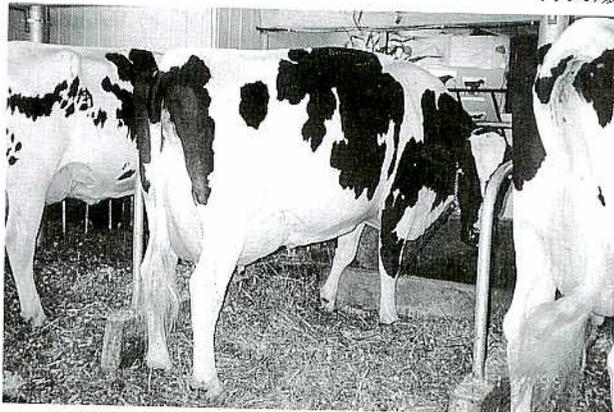
※モエットの目的はツルタイブ（理想的な乳牛）を作成する事で、完全な雌を作るためには、完全な雄を作らなければなりません。

一頭当り八百本〜千本をヤングサイアーで利用（後代検定）、また信頼度を上げるため、他国でも後代検定をかけます。

午後よりオントワファームを視察、バスより降りた瞬間、中標津でもめずらしい位のサイレージの



ミランの娘



リーダーの娘

臭いがし、牛舎に入るのもためらってしまいました（実際は一時間以上入っていました）。

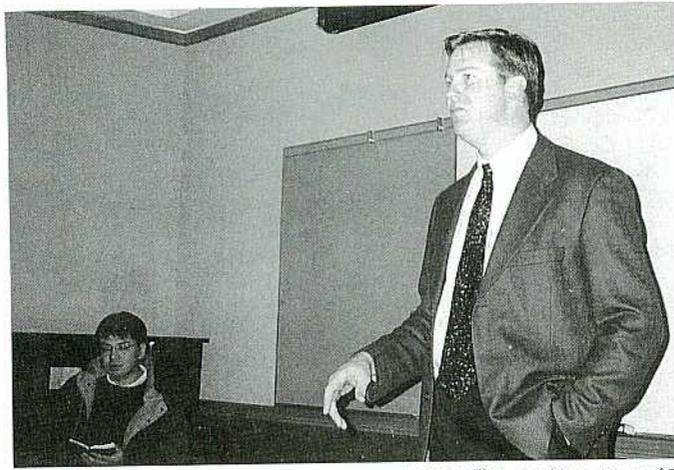
この牧場の目標はVGで六産六万頭、初産八千、二産一万頭以上。四カ月前よりTMR実施。

三日目朝七時三十分よりカナダ



ゲルフ大学

ホルスタイン協会に行き、来年六月より実施、日本でも検討されつつあるコード化について講議を受けました。コード化の目的は牛群内の生産、衛生（病気など）、家畜



ゲルフ大学 Dr マイケル ローハイス

の動き遺伝評価、世界貿易に対する家畜の個体及び牛群の識別番号同一化を将来可能にします。
識別（コード化）は、十年前に議会議会を通じていましたが、それを

具体的に規制化して利用（米国では識別のない肉牛は販売不可）。

また、今まで登録されていない物を含め、全ての家畜（人が飼っている物）の識別を行います。

午後からは唯一の観光であるナリアガラの滝を見学。観光時期が終わり、水量も半分には抑えられ、人もまばらでした（でも、すごかった）。

四日目、三件の酪農家と、午後からローヤルウインターフェアのセールを見学。

サニーマープル牧場は日本でも有名で、EX十一頭、VG三十五頭（親牛はあまり良いとは思わなかった）。育成牛は発育よく、すばらしい体型をしていました。また、初産月令が二十四カ月〜二十五カ月と早い、牛も大きく、中標津も見習わなくては…。

クオリティ牧場、フィールドハウス牧場は親牛が良かった。

今回六件の酪農家を視察しましたが全体的に後乳房、肢蹄、胸が良かった。余り大きくないように感じましたが牛のとなりに立つとやはり大きかった（全体的にそろ

っているので感覚が変わってしまった）。

午後よりセール、オブスタリア、約百頭出品、最高二万四千ドル、平均七千五百ドル。北海道より十勝の吉川氏、角倉氏、鈴木力氏、三谷氏らがセールに参加、吉川氏が一万八千ドルでスターダストの娘を購入、三谷氏が四頭、鈴木氏が一頭購入した模様。

最終日、今回のメインであるローヤルウインターを見学。

さすがカナダ最大級のショウとあってすごい迫力でした。観覧者は三千人をこえ、出品マナーも良く服装、調教、毛刈など全ての面において好感が持たれ、日本も勉強しなければならぬ点でしょう。

入賞状況を見ると未經産ではチールズ、スターダスト、アスターが上位を占め、経産ではチールズスターバック、アスター、アストロジットらが活躍しました。今回出品牛の中で、チャールズとアスターの娘牛のインパクトが非常に強くサイズ、スタイル、デリーリと好ましい状態でした。

当日の夜（カナダ最後の夜）久

々に日本の？ サッポロビール、酒、米を食べ、元氣よく夜の街に消えて行きました（自分は除く）。

朝、十時の飛行機によりカルガリー経由で成田へ向かいました。しかし、トロント出発時とカルガリー出発時の二回、機体整備に合し、成田まで十七時間の飛行でした（飛行機から降りたのはカルガリーの四十分間、ここで免税店に寄りニナリッチのネックレスなどを沢山買いました）。成田到着時も無事に没収される物もなく税関を抜け日本に到着。中標津到着後、体重計に乗ると五割やせていました。喜んでよいのか悲しんでよいのか？

今回一週間という短い期間でありましたが、カナダ（他国）に行くことにより地元を別の視野から見ることができ、本当に勉強になりました。まだまだ報告する事はありませんが、詳細を報告するときがありません。写真も沢山撮ってききましたので家畜改良課まで来て頂ければと思います。

以上をもちまして海外視察研修の報告とさせていただきます。

「農協の役員運営者として」 新任理事研修会に参加して

川村清身

さなければならぬという事で、農家である組合員あつての農協運営であるという基本的な事から遠ざかりつつあるのではないかと感じました。

農協組織で働く役職員は農業者を一戸でも減らさない努力をし、農家の立場を十分に理解し、またあいさつ、話し方、言葉づかいなどにも留意し、農家である組合員から報酬を安定して支給されている事を感じの気持ちで受け止める必要があるという事を指導されました。

現在の組合員は大変な行政の改革のなかで経営努力を積み重ねる大変な時期であります。

農家の所得が減少した時は農協職員も、特に管理職である者は自ら給料アップを凍結するぐらいの気構えが必要であり、農協学校研修の中でも農協運営では適正な人件費比率について学び、当組合の人件費比率を当てはめたところ、八〇割と非常に高い比率である事を感じ取りました。

今日の農協で重要視され、問われているのは農協が設立当初の主旨を振り返り、今一度組織を見直

が受けとめて、農協運営に配慮する事が今後重大な課題である事を認識することができました。

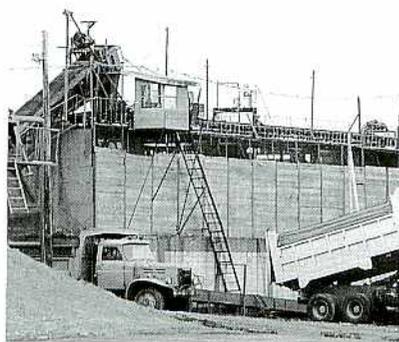
農協役員となり、今回の役員研修に参加をし、身をもって体験したことで北海道全体の農協運営の事、また、運営者としての役員のみで全体を見ることが必要である事、職員を導き指導する事、これから学ぶべき事が数多くあるという事を再認識しました。理論より実践が問われているという事もあり機構改革への取り組みは急務であると感じました。

講師の方々よりこれからの農協運営はあいまいな事ではできないのだという事を強くうたえられ、農家並びに組合員がいかに苦勞されているか、そのなかで我々の置かれている立場を痛切に感じ取ることができた事を申し添えて、今回の農協学校理事研修の参加報告にさせていただきます。

本当に有り難うございました。

合理化でん粉工場 の操業実績

九月十八日から受入れを開始しておりました合理化でん粉工場の操業が、十一月十一日に終了致しました。今年は時作時の二度にわたる雪並びに夏季の日照不足により生育が遅延し組合員各位、大変ご苦勞されたと思われませんが、原料堆積場の設置により工場においては原料切れがなく操業出来た事に對し厚くお礼申し上げます。最終原料処理量は天候不順により三十三万九百七十四俵、製品出来高は十八万九百五十五袋と前年を大幅に下廻る結果となりました。



家族とともに…今 そして未来へ!

根室地区JA青年部大会



林美和会長(JA根室地区青年部連絡協議会)の開会あいさつ

平成八年度、根室地区JA青年部大会が十一月二十五日、中標津町、寿宴で開催され管内から青年部員約百人、女性部(フレッシュミセス)十六人が参加し、大会テーマ「どうする根室酪農」(家族とともに：今、そして未来へ)と題し、開会にあたり林義和会長(JA根室地区青年部連絡協議会)が「農業経営は家族と直結しており、いかに家族が協同の価値観の中に協力しあえるかが経営向上に日常不可欠である、豊かな農業経営は豊かな家族があつてこそ、大成される

ものであると思いますし、だれもが豊かな生活のために日々努力している」とあいさつ。続いて講演、分散会、JA青年の主張発表、全体討議と進められました。
その後、分散会に分かれ経営規模拡大の必要性、適正経営規模による生産性の向上、環境整備など生活環境の改善など、さまざまな角度から意見が出されました。JA青年の主張発表(フリースピーチ)では、JA計根別青年部、田中洋希氏の「これからの楽農とオラの人生」が全道大会出場に決定しました。

仲間同士の ネットワークを広げよう!

「過去、現在、未来をつなぐ仲間の輪をつくろう」

十一月十三、十四日に、JA全道女性大会がグリーンホテル札幌で開催され、当女性部からは、中林文子さんと中司俊枝さん、事務局の三人で出席いたしました。

「過去、現在、未来をつなぐ仲間の輪をつくろう」が今年のテーマで、道内各地から約六百人が参加。初日のパネルディスカッション



元気に参加した中司さんと中林さん

第43回 全道女性大会

では、「仲間同士のネットワークを広げ、ゆとりある農村づくりを目指して」ということで、活発な意見が交換されました。

これからは「新しい意見を聞く耳を持ち、自己主張をしていかなければ、農村を活性化できない」と時代の流れを的確にとらえた経営が大切であること。また女性らしいセンスを生かしたアイデアで一歩前へ、など自分達の住む農村を女性の力で活性化させていこうと話しあわれました。その後、組織体験発表、農業経営実践事例発表が



行なわれ、初日は終了致しました。二日目は、登山家で医師の今井通子氏の特別講演、本大会と続き、申し合わせ事項を採択し閉会となりました。

JA根室地区
女性協設立40周年
記念研修会

さわやかに、 そして明日輝くために

11月18日(月)にJA根室地区女性協設立40周年記念として
研修会が中標津町文化会館しるべつとで開催されました。

J A 根室地区女性が約百五十人
集い、当女性部員も十八人出席い
ました。

根室地区女性協・響会長と、各
関係機関の来賓の挨拶の後、家の
光専任指導員の梅津氏より、「こ
れからのJ A 女性組織」と題して
の学習会を開催。

学習会では、女性組織の現状や
問題点などが話され、「個々がリ
ーダーなのだ」という気持ちを持
つ事が大切だという事などを話さ
れていました。

午後からは、「トウリリアム・オ
カダ・ファーム」の岡田ミナ子氏



室地区女性協議会

家の光専任指導員の梅津氏



約150人が集まった会場

を招いての記念講演が開かれ、同
じ農村に生きる女性としての気持
ちやエピソードなどを交えて、明
るく楽しいお話しをしていただき
ました。

「自分の意志をしっかりと持ち、や
りたい事に向かっていけば、いつ
も輝ける女性になれる」と岡田さ
ん。

四十周年記念講演にふさわしく



当女性部からも18人が出席し研修を受けました

明るく、前向きなお話しを聞く事
ができました。

その後「J A 女性の歌」を全員
で斉唱し、盛大の内に閉会となり
ました。

暮らしの

知恵袋



"予算生活に挑戦"

北根室地区農業改良普及センター

になるとどうしても記帳が面倒になりがちです。そこで費目は自分の生活スタイル、目的にあったものとし、自分のペースで気軽につけることがポイントです。

記帳になれてきたら、次は支出のチェック。家計簿を見て今月(今年)の分析、反省をし、翌月(翌年)の予算を立てて、留意点を明確にしてこそ家計簿記帳を暮らしに活かし始めたといえます。

○支出の優先順位を考える

家計を上手に管理

するということとは、

なんでもかんでも切りつめることではありません。暮らしの中で、「ここだけはゆずれない」ところや、支出の優先順位をしっかりと決め、その他の無駄を切りつめることです。表のポイントと照らし合わせ、家計簿の数字を点検したいものです。

少しの工夫と努力で減らせるものや、無計画の結果のあらわれたものなどが見えてきます。このよう

な家計管理が、ゆとりある暮らしを送るために大切なことだと思います。

今年記帳している人は年間の検討を、つけられなかった人は大きな予算を樹てて、来年はぜひ予算生活に挑戦してみましょう。



ひと月を5週分に分け、残った分は貯金や楽しみに。やりくり上手のアイデアです。



費目分類はなるべく単純に。自分の生活スタイルに合わせ"つけやすく"がたいせつ。



週単位、月単位で見直し検討。"うまくいなくても、あたりまえ" くらい的心づもりが肝心。

数字として明確に残る家計簿は家計を見直す材料であり、人生設計を立てる場合に良い資料となるものです。例えば教育費では上の子の時にはこれだけかかったとか、法事には前回これだけ必要だったというように記録しておくことが後に役立つものです。また、現在の生活がどうかを検討する場合同様に家計簿の数字は大切な役目をはたします。

○家計簿を続けるには：

家計簿の大切さはわかるけれども、なかなか長続きしないのが悩みの種です。続けて記帳するにはつけ易くする工夫が必要です。まず、品目を細分化して多項目

表、生活内容から見た家計診断のポイント

項目	ポイント	項目	ポイント
食生活	<ul style="list-style-type: none"> 食品のバランスは、健康状態に適した献立か。 家族構成と食事内容との調和 食べられる物を捨てていないか コーヒーや酒やタバコ等の嗜好品 外食や調理済み食品の利用状況 自給や自宅での調理加工状況 食生活についての家族の喜び 	光熱	<ul style="list-style-type: none"> 冷暖房のスイッチ切り替えや燃料調節 炊事の火力調節 電気、ガス、水道などの使用状況 光熱関係の器具の手入れや修理 漏電、水漏れなど 照明の明るさの調節 熱効率
衣生活	<ul style="list-style-type: none"> めったに利用しない衣服 バーゲンセールで衝動買い 衣服・持ち物の利用状況 洗濯や修理 衣服や寝具等のリフォーム 礼服やその他必要な衣服や持ち物 流行に対して 	教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育方針 学用品や玩具の与え方 物を大切にし、感謝するしつけ 子供の体や心の健康 生活マナーのしつけ 教育費の準備
住生活	<ul style="list-style-type: none"> 電気器具の利用 その他家庭用耐久品 バーゲンセールで衝動買い 家具や家庭用品の修理や手入れ 新製品の販光やモデルチェンジ 機器の故障や破損 住宅の手入れ 	交際	<ul style="list-style-type: none"> 贈り物 来客の接待 手紙やはがき お祝い金や香典の見舞い等 電話
		経済準備	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な貯蓄や保険とその方法 保険や共済への加入 保険料や掛け金の準備

記帳を続けるため…

農協の財務状況

十月末における農協の財務状況についてお知らせします。

*貸付金

受託資金・組勤を含む貸付金総額では、昨年同期に比べ四億四千四百万円増加となっております。主な部分は、受託資金が一億円と組勤貸越額が二億九千七百万円の増加分です。

*クミカン

十月末の状況は、昨年同期に対し二億九千七百万円悪化しています。収入全体では、乳代（補給金含む）が一億四千四百万円増加し、個体販売（一千六百万円）、農産物（四千六百万円）、農外収入（五千四百万円）などが減少し、収入合計では約一千万円の減少となっております。支出については、飼料代が値上がり及び量の増加に伴い三億九百万円が増加し、家計費も一億三百万円の増加となり、支出合計で約四億一千三百万円の増加となっております。

*貯金

昨年同期に比べ、一千七百万円

の増加となっておりますが、低金利の中計画達成に苦しい状況となっております。現在Wチャンスキャンペーン実施中ですので、今後も、なお一層のご協力をお願い致します。

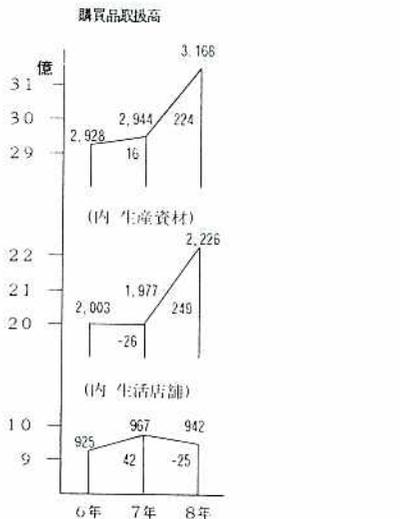
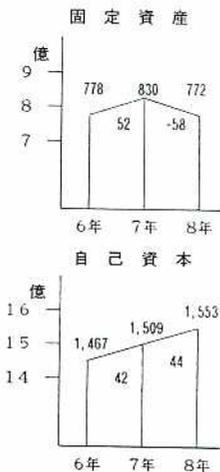
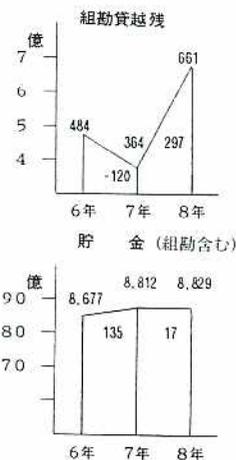
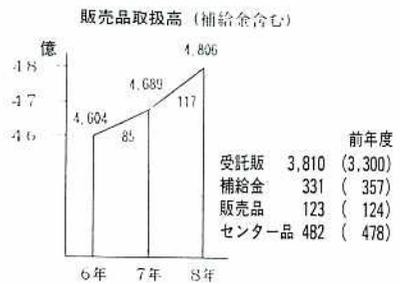
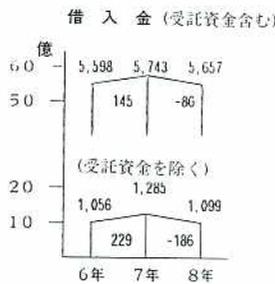
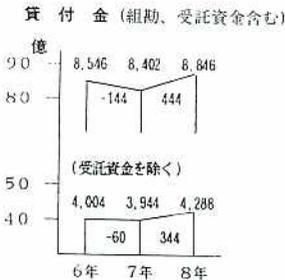
*販売事業

乳代の増加により、昨年同期に比べ取扱高で一億一千七百万円の増加となっております。下期の事業展開についても、個体販売などに積極的に取り組んでまいりますので、今後ともご協力をお願い致します。

*購買事業

組合員各位のご協力により、事業全体では増加を見る事ができました。生産資材につきましては、肥料・飼料などの価格引き上げと飼料の供給量の増加により、昨年同期に比べて、二億四千九百万円の増加となっております。生活店舗については、全国的な天候不順と日照不足のため適期に商品の入荷がなくなり二千五百万円の供給減少となりましたが、今後下期におきまして、一層の努力をしてまいりますので、皆様方のご協力をお願い致します。

平成8年度10月末事業概況(単位:百万円)





一日皆貯金

総額で
86,661千円

平成八年度、一日皆貯金は、十月十七日から三十一日まで、組合員宅及び町内各ご家庭を訪問し実施いたしました。

実績といたしましては、件数千二百六十一件で、組合員、準組合員、員外を含め総額で八千六百六十六万一千八百九円となりました。農業情勢、経済状況の厳しい中ではありますが、皆様の多大なるご協力に厚くお礼を申し上げますと共に、今後とも宜しくお願い申し上げます。

網走キャンペーンに伴う 1万円宿泊券のプレゼント



エヌツアー (株)農協観光釧路営業所
所長 石川 昭一

クイズに
応募して
もらおう!

- プレゼントの方法
クイズ問題回答者の正解者の中で抽選
- 宿泊券の利用可能施設
網走グランドホテル・網走かに本陣友愛荘
- 宿泊券の利用可能期間
平成8年12月1日～平成9年4月30日まで
- クイズ問題
弊社のコミュニケーションネームをお答え下さい。 ○○ ツアー
ヒント：ふれあいコーディネイターエヌツアー
- 解答申込み締切日 平成8年12月29日
- 応募方法
氏名・住所・電話番号・クイズの答えを記入の上、JA中標津経営企画課まで
(応募用紙はどのような物でもかまいません)
FAXでも受付けております。



3カ月予報 北海道地方長期予報

財 日本気象協会北海道本部



気象概況 この期間、気温の変動が大きいです。この期間の平均気温、降雪(水)量はともに平年並の見込みです。

十二月 時々冬型の気圧配置となつて、日本海側やオホーツク海側では曇りや雪または雨の日が多く、太平洋側では晴れの日が多いでしょう。

一月 時々冬型の気圧配置となつて、日本海側やオホーツク海側では曇りや雪の日が多く、太平洋側では晴れの日が多いでしょう。寒さの厳しい時期と緩む時期が交互に現れ、気温の変動が大きい見込みです。

二月 一時冬型の気圧配置が強まる時期があるでしょう。日本海側やオホーツク海側では曇りや雪の日が多く、太平洋側では晴れの日が多いでしょう。寒さの厳しい時期と緩む時期が交互に現れ、気温の変動が大きい見込みです。

平成9年度 別海高等学校農業特別専攻科学生募集のご案内

専攻科とは

専攻科は、高等学校を卒業した後継者や新規就農者が引き続き家業に従事しながら酪農経営や技術を学び、人間的な成長を助け、仲間づくりをするところです。

酪理実践

21世紀の酪農後継者をサポートします

単位制の
導入

自分の受講したい科目、時間、時期を自由に選択して単位を修得するシステムです。開講科目は、酪農に関する専門科目、教養科目、専攻科目(ゼミ)があります。また、開講時間も午前10時50分から午後2時10分までなので、朝夕の乳牛の管理作業に従事しながら学習できます。

学生募集要領

- 修業年限 2年
募集定員 酪農経営科 20人
出願資格 平成8年度高等学校卒業見込みの方
酪農の基礎技術を学びたい方
新規就農を考えている方
出願受付 平成9年1月17日(金)～1月31日(金)
出願書類 入学願書、健康診断証明書、調査書
入学検定料、農業経営調書
※入学書類一式は北海道別海高等学校事務室に用意
しています。
検査日 平成9年2月5日(木) 作文・面接
検査場所 北海道別海高等学校 農業特別専攻科
※詳細については、別海高校農業特別専攻科
〒086-03 別海町別海緑町70-1 ☎01537(5)2053
までお問い合わせください。

自家の経営に結び付いた学習

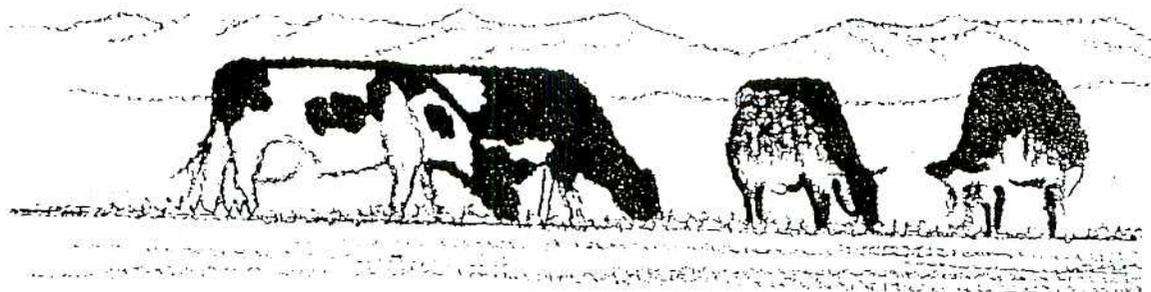
自家の草地、乳牛に関する事柄をゼミナールごとに分かれて取り組みます。また、農業簿記による経営診断も行います。夏季の農繁期(6月～8月)は授業がありません。

先端技術に対応した学習

コンピュータを用いた経営管理などを取り入れた実践的学習ができます。

国内外の実習

在学2年目に希望に応じた条件(地域・規模など)で実習を行うことができます。(国内・ニュージーランド・欧米など)別海町研修補助金制度を利用できます。





タワワに実ったミカン狩り

道外視察研修を実施 中標津町野菜生産組合

11月11日中標津町野菜生産組合員20人が、初の道外研修を行ないました。目的は当組合が今年初めて川崎市内いろは堂に10数品目の野菜を直送をしました。その内容などについての意見交換会を行ない、今後の課題に取り組む事を目的とし、また日頃の慰労も兼ねた旅行となりました。会員達は日頃鍛えただけあり、疲れもみせず無事帰って来ました。



少しつかれ気味、バスにてひと休み

フ オ ト ア ス ル ズ ム



ホールに飾られた四季折々の写真

初の農民写真展が11月18日から29日まで、中標津町総合文化会館市民ホールで開催されました。

この写真展は、写真趣味の会「大地」実行委員会（代表・小出清信氏）8人のメンバーで準備を進め、農協の側から農業や農村の豊かさ、大切さを写真を通してアピールしたいと考えた写真展です。作品は、中標津町農協組合員、農業改良普及員など12人が趣味で撮った中から4つ切り（約30号×約25号）サイズで、身近な自然や動物、牧草の収穫など日常の生活感あふれる写真20点が展示されました。

大地に携わる 私たちからの メッセージ

第1回 農民写真展

写真趣味の会「大地」実行委員会

今も農業し
国際化の時を迎え
国内外のコストの差を
問わねばならぬ
自然の恵みを受け
家族の地域を大切に
大地に携わる私達の目を通して
四季折々の農村風景を素直に
身の回りの出来事や写真を表現し
また写真を通じて私達の心を
リラックスし写真展がこれこそ本
り写真展といふことを願っています

粗飼料分析を実施して 適正な飼料給与をしましょう

営農技術研修会から

11月18日から27日までの間、各酪対支部ごとに、農業改良普及センターの支援で営農技術研修会を開催しました。

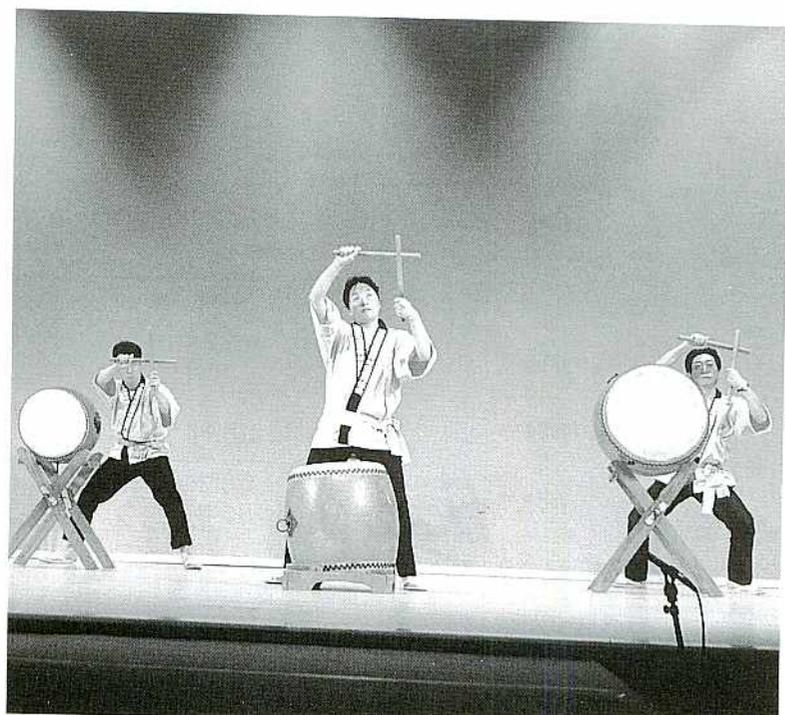
夏期間の天候不順による粗飼料の品質低下が分析により下降傾向にあり、今後の飼料給与に当っては、粗



金光主査の営農技術指導

飼料分析を行ない適正な飼料給与を行ない、乳牛の健康管理に努め、受胎率、乳質、乳成分の向上を目指して、技術的に改善をしていく事を確認しながら終える事が出来ました。
〈粗飼料分析は、営農資材課に問い合わせ下さい〉

職域かくし芸のつどい JA「太鼓」を披露



初出演のJA中標津躍進太鼓

中標津町文化体育振興会が主催する「第11回職域かくし芸のつどい」が11月20日、町総合文化会館しるべつとホールで開催されました。

昨年までは、名士かくし芸として行なわれていたこの催しも今年は職域かくし芸と改められ、町内から10団体（内賛助出演3団体）が出演し、歌や踊り、寸劇などが披露されました。

この中でJA中標津も初参加し、5人のメンバーで太鼓演奏を行ないました。

会場には、約700人の町民が訪れ、笑いと沢山の拍手が送られました。

11月の 組合日誌

- 1日 定例自治監査
- 2日 定例自治監査
- 6日 乳牛改良同志会役員会
- 11日 良質乳生産推進事業研修会
- 13日 青年部幹事会
- 19日 第11回理事会
- 22日 第7回営農委員会
- 26日 地区別懇談会(中標津地区)
- 27日 地区別懇談会
(俵橋、開陽、当幌地区)
- 28日 地区別懇談会
(武佐、第2俣落、西竹、俣落地区)
- 29日 第10回役員協議会
- 〃 第12回理事会
- 30日 第9回臨時総会

農耕用トラクターの 車検制度は廃止になります

- 農耕用トラクターは小型特殊自動車に区分され、平成9年1月1日より車検は不要となります。
- トラクターの自賠責(保険)は不要となりますので、必ず任意共済(保険)を掛けて下さい。
(詳しくは農協共済係へお尋ね下さい)
- トラクターの点検整備については耐用年数など踏まえ自己責任において整備をして下さい。
- トラクター運行保安上から車幅灯、尾灯、制動灯、後退灯については引き続き保安基準の規定が適用されます。
- 地方税について、今後トラクターは小型特殊自動車に該当しますので、固定資産税(償却資産税)から軽自動車税(1,600円)に変更になります。
- トラクターを運転する場合は、従来通り大型特殊自動車免許が必要です。

年末年始の業務日程

一般業務納め 12月30日(月)午後3時まで
一般業務始め 1月7日(火)

休業

業務名	31日(火)	元旦(水)	2日(木)	3日(金)	4日(土)	5日(日)	6日(月)	備考
一般業務								
貯金・組勸・共済							15時まで	
A T M					14時まで		15時まで	
A コ ー プ	13時まで				平常業務		平常業務	12月15日(日)、22日(日)、23日(祭)29日(日)は営業します。
資 材 店 舗	13時まで				12時まで		平常業務	配達業務につきましては、7日以降となります。
農協前給油所	13時まで				17時まで		平常業務	12月29日(日)は営業します。
桜ヶ丘給油所	13時まで				17時まで		平常業務	12月23日(祭)、29日(日)は営業します
人 工 授 精	平常業務		平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	
生 乳 検 査	持込に限る 受付正午迄				持込に限る 受付正午迄		持込に限る 受付正午迄	緊急生乳検査については、別途通知します
乳 製 品 工 場					平常業務		平常業務	